

取り組み②

■防犯カメラ・防犯灯の設置



防犯カメラ作動中表示

防犯カメラ作動中



防犯カメラ

LED防犯灯



防犯カメラ作
動中表示

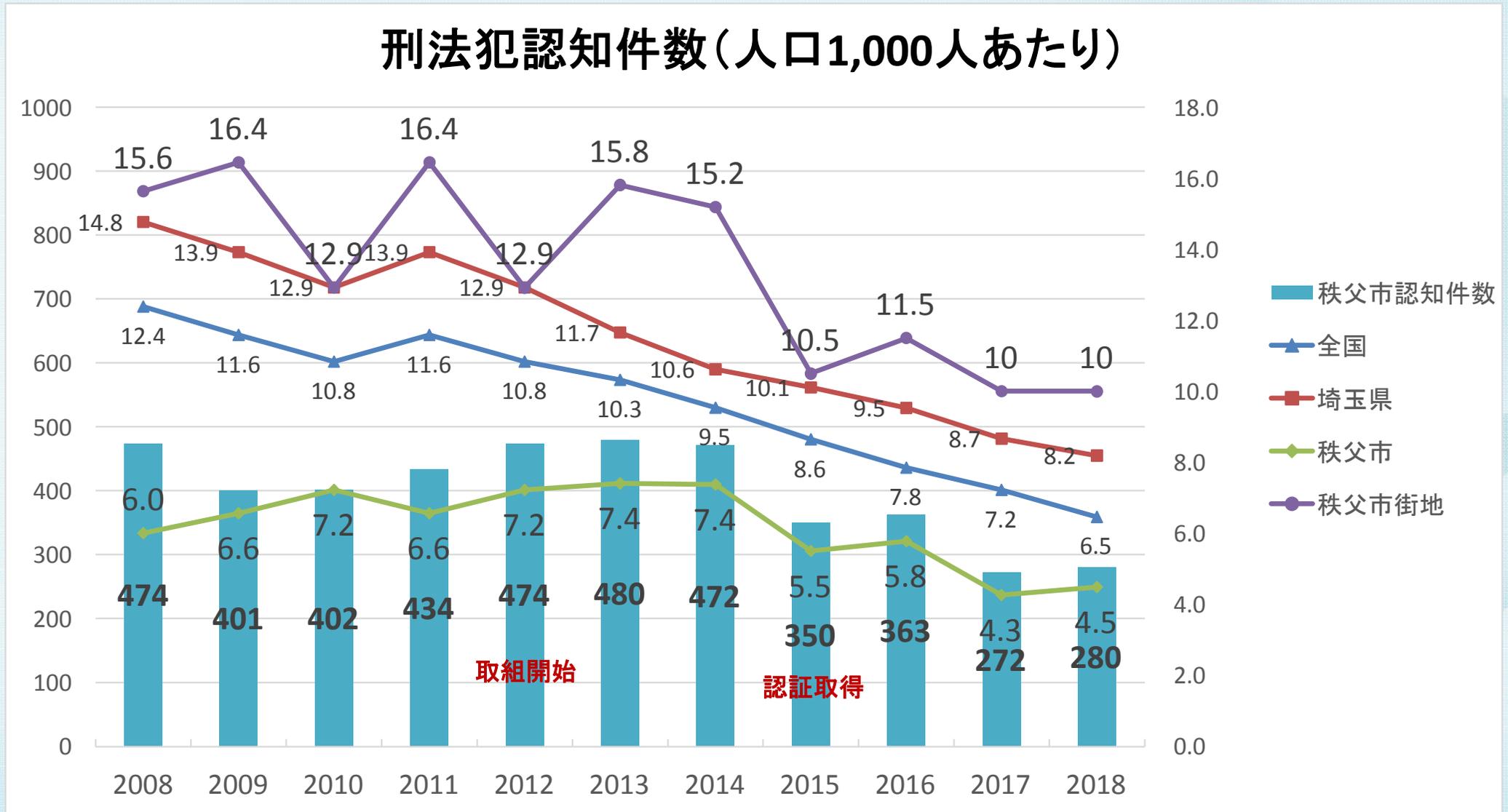
成果確認

■防犯カメラ・防犯灯の新規設置基数（短・中期評価）

年度	防犯カメラ	防犯カメラ作動中表示	防犯灯
2014	14基	200枚	48基
2015	—	—	43基
2016	—	—	39基
2017	—	—	43基
2018	—	—	46基

データ評価

■ 刑法犯認知件数の減少(長期評価)



出典: 警察統計

③鍵かけ運動の推進（継続）

課題	④防犯活動の参加者が少ない ⑤詐欺への被害に不安を感じている市民が多い	
方向性	防犯意識の向上及び行動の改善	
内容等	【内容】	街頭キャンペーンでの注意喚起、啓発チラシ・鍵かけシールの配布等により、施錠の徹底を図る。
	【対象】	市民
	【対策委員会の役割】	取組みへの支援 ①啓発チラシ、鍵かけシール等の作成・配布 ②市報や回覧による啓発「施錠の徹底」
(短期・中期) 意識・知識の変化 態度・行動の変化	【指標】 防犯意識の向上・施錠割合の増加	【測定方法】 市民アンケート
(長期) 状態・状況の変化	【指標】 侵入盗被害の減少(取組み3, 4共通)	【測定方法】 秩父警察署提供データ

取り組み③-1

■鍵かけ運動の推進

内 容	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
啓発チラシ	3,000枚	135枚	—	シールと同時に配布
鍵かけシール	2,000枚	—	—	2,000枚
啓発物品	9,500箇	9,500箇	9,500箇	
高齢者世帯訪問	1,300世帯	—	—	
啓発チラシ (回覧)	3000枚 (全世帯)	135枚 (1,230世帯)	—	
自転車盗啓発ポ スター(駅・大型 商業施設等)	—	—	27カ所 (取組開始)	

データ評価

■防犯意識の向上・施錠割合の増加(短・中期評価)

区分	外出時の自宅施錠	就寝時の自宅施錠	在宅中（就寝時以外）の自宅施錠	自転車防犯登録
2013年	82%	82%	—	34%
2016年	93%	87%	46%	42%
2019年	86%	71%	40%	24%

出典：安全・安心なまちづくりに関する市民意識調査アンケート

④犯罪の芽を摘む運動（継続）

課題	④防犯活動の参加者が少ない ⑤詐欺への被害に不安を感じている市民が多い	
方向性	防犯意識の向上及び行動の改善	
内容等	【内容】	犯罪につながる行為に対して、警察や関係機関への連絡をするという意識の啓発
	【対象】	市民
	【対策委員会の役割】	取組みへの支援 ①啓発チラシの作成、配布への支援 ②市報や回覧による啓発「犯罪を通報する（見てみぬふりをしない）」 ③出前講座等における意識啓発の依頼
（短期・中期） 意識・知識の変化 態度・行動の変化	【指標】 チラシの配布枚数・犯罪行為目撃通報件数	【測定方法】 チラシ配布枚数、秩父警察署提供データ
（長期） 状態・状況の変化	【指標】 侵入盗被害の減少（取組み3, 4共通）	【測定方法】 秩父警察署提供データ

取り組み④

■犯罪の芽を摘む運動の推進

誰かが **見てるぞ!**
～犯罪の芽を摘む安心・安全なまち～



大切なのは「地域の目」

犯罪者が嫌うのは「地域の目」です。「いつもと違う」不審なもの・人だと感じたら、秩父警察署 (Tel.24-0110)・小鹿野警察署 (Tel.75-0110) もしくは、最寄りの交番・駐在所にお話ください。

一人一人の「地域の目」が、安心・安全なまちづくりの第一歩になります。

～秩父市内の交番・駐在所～

- | | | | |
|--------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| ・西武秩父駅前交番
Tel.22-3329 | ・尾田崎駐在所
Tel.24-5685 | ・大滝駐在所
Tel.55-0020 | ・上吉田駐在所
Tel.78-0042 |
| ・秩父駅前交番
Tel.24-9015 | ・影森駐在所
Tel.24-4039 | ・中津川駐在所
Tel.56-0155 | |
| ・高徳駐在所
Tel.24-4369 | ・大田駐在所
Tel.62-2316 | ・三峰口駐在所
Tel.54-2009 | |
| ・原谷駐在所
Tel.24-4370 | ・中川駐在所
Tel.54-1069 | ・下吉田駐在所
Tel.77-0069 | |



○交番や駐在所の連絡先を載せたチラシを作成し、「地域の目」に対する意識の啓発。

**犯罪件数が多い
地区へは、チラシ
を各戸配布**

セーフコミュニティちちぶ 犯罪の防止対策委員会、秩父警察署、小鹿野警察署

成果確認

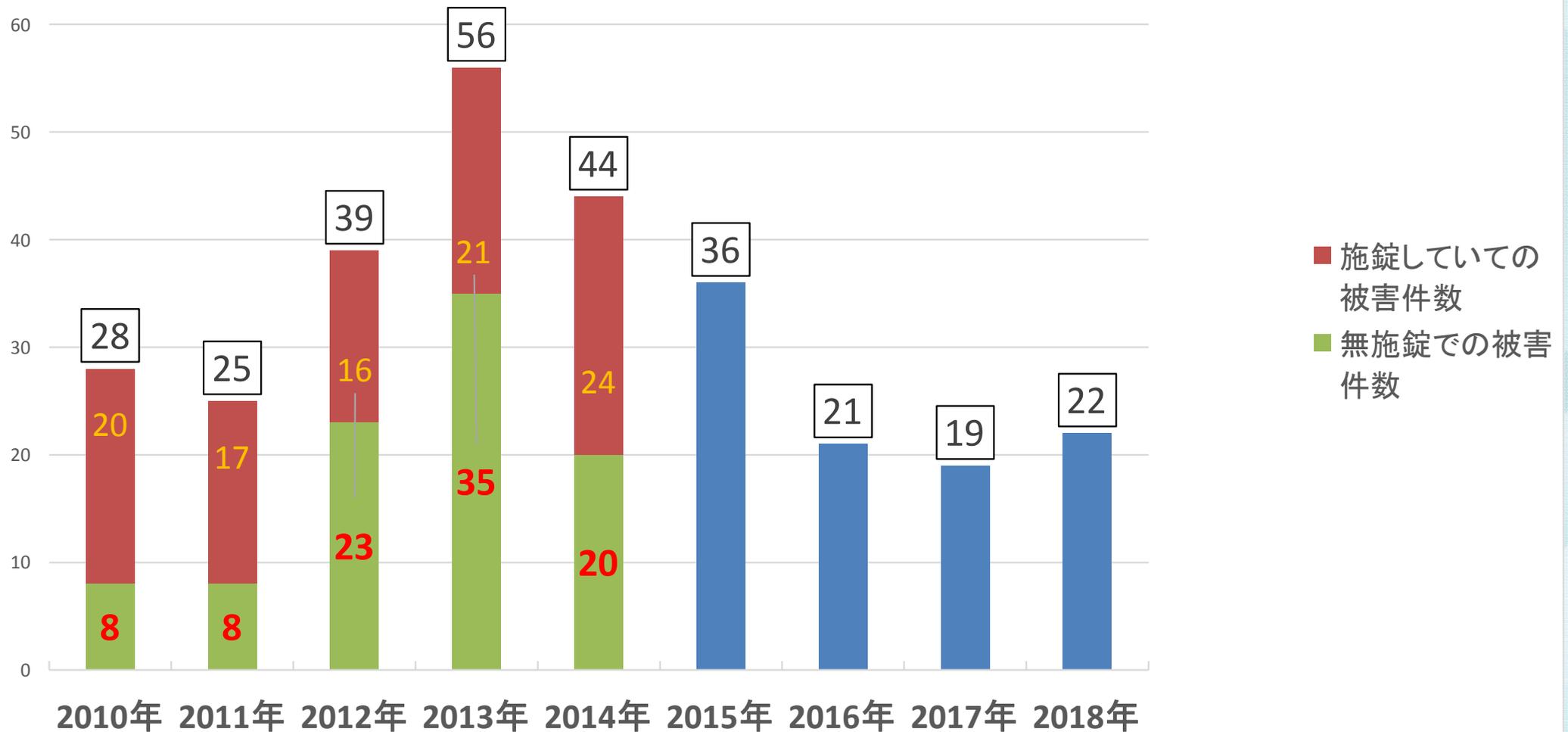
■チラシの配布枚数・犯罪行為目撃通報件数(短・中期評価)

内容	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
啓発チラシ	3,000枚	1,230枚	市報で周知	6,435枚
犯罪行為 (不審者)目撃通報件数	37件	35件	41件	64件

データ評価

■ 侵入盗被害の減少(長期評価)

侵入窃盗被害件数(秩父市内)



取組開始

認証取得

出典: 秩父警察署

⑤振り込め詐欺撲滅キャンペーン（継続）

課題	④防犯活動の参加者が少ない ⑤詐欺への被害に不安を感じている市民が多い	
方向性	防犯意識の向上及び行動の改善	
内容等	【内 容】	啓発チラシの配布、商業施設等での街頭キャンペーン（前回の事前指導→取組みを追加）
	【対 象】	市民
	【対策委員会の役割】	取組みへの支援 ①啓発チラシ配布への支援 ②防災無線での注意喚起 ③市報や回覧で周知（最近の特殊詐欺の手法） ④各種連携（ATM前立哨、銀行、コンビニ、タクシー内での声かけ）
（短期・中期） 意識・知識の変化 態度・行動の変化	【指標】 街頭キャンペーン回数、チラシ配布数	【測定方法】 取組み回数、配布枚数
（長期） 状態・状況の変化	【指標】 特殊詐欺被害件数と金額	【測定方法】 秩父警察署提供データ

取り組み⑤

■振り込め詐欺撲滅キャンペーン



防災無線の活用

街頭キャンペーン



成果確認

■街頭キャンペーン回数、チラシ配布数(短・中期評価)

内容	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
啓発チラシ		1,400枚	1,400枚	350枚
啓発ポケットティッシュ	9,000箇	9,000箇	9,000箇	9,000箇
街頭キャンペーン	3回	3回	3回	4回
防災行政無線放送 (防犯関係)	27回	33回	27回	9回

成果確認

■特殊詐欺被害件数と金額(長期評価)

年	被害件数	被害額
2014	14件	52,900,000円
2015	2件	6,535,002円
2016	9件	21,241,000円
2017	11件	12,296,000円
2018	5件	4,523,321円

まとめ①（アンケートによる成果）

依然、空き巣・忍び込みと詐欺について不安に感じている市民が多い

2019年

2013年	とても不安	少し不安	どちらともいえない	あまり不安でない	まったく不安でない	無回答
ひったくり	8.1	30.2	22.1	26.6	5.5	7.6
自転車の盗難	10.7	36.2	18.8	16.2	9.1	9.0
オートバイ・自動車・積載物盗難	11.4	40.0	20.9	13.9	5.0	8.7
傷害（暴力）	8.2	26.3	29.2	22.3	4.9	9.1
器物破損	9.0	29.6	28.8	19.2	3.8	9.5
空き巣・忍び込み	22.0	47.4	13.3	8.5	2.0	7.0
恐喝	9.5	26.5	29.1	19.9	5.7	9.2
痴漢	8.5	23.4	28.9	19.4	9.8	10.0
詐欺	20.3	38.6	18.3	11.5	3.7	7.6
その他	2.3	2.4	4.1	1.1	3.2	87.0

	とても不安	やや不安	あまり不安はない	ほとんど不安はない
ひったくり	27.8%	37.6%	27.3%	7.3%
自転車の盗難	27.0%	41.3%	19.3%	12.4%
バイク盗難	24.0%	36.7%	23.0%	16.4%
自動車盗難	31.4%	41.8%	20.3%	6.5%
傷害（暴力）	33.2%	35.8%	24.3%	7.8%
器物破損	26.0%	41.8%	24.9%	7.3%
空き巣・忍び込み	44.1%	42.0%	10.7%	3.2%
恐喝	31.5%	34.4%	25.6%	8.5%
痴漢	33.2%	36.1%	21.5%	9.2%
詐欺	43.7%	38.6%	13.0%	4.7%

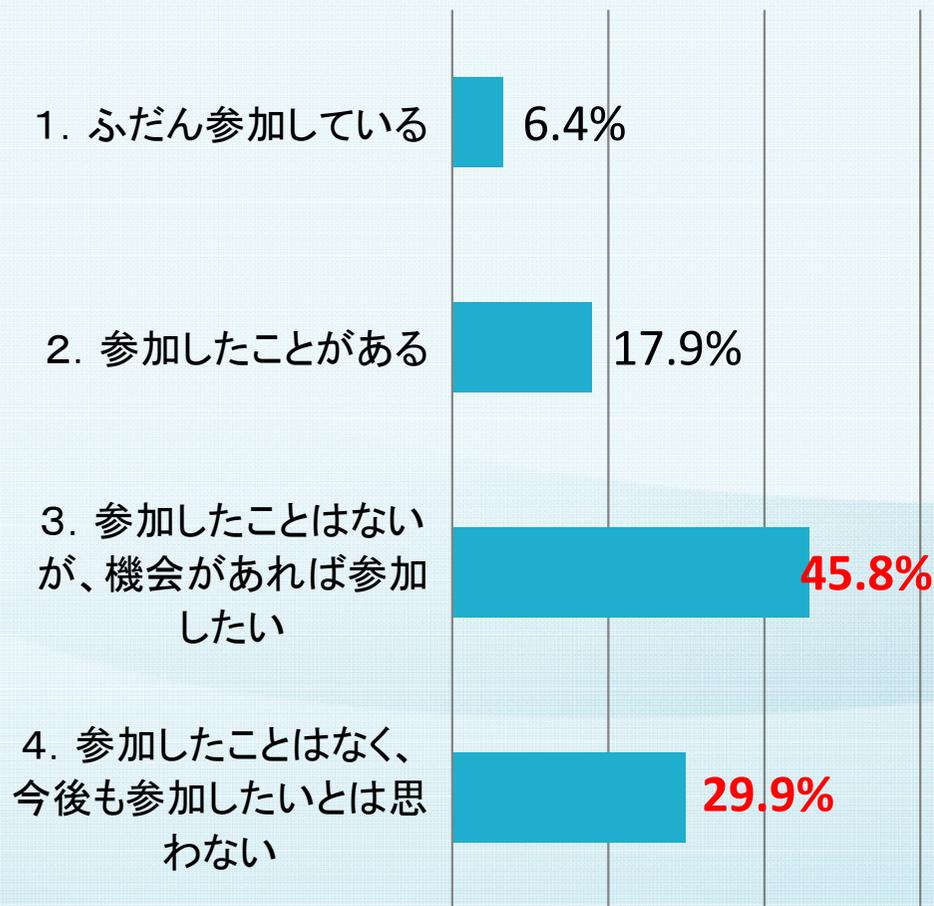
まとめ②（アンケートによる成果）

防犯活動に対する関心が低くなっているため、今後取組みを強化する必要がある。

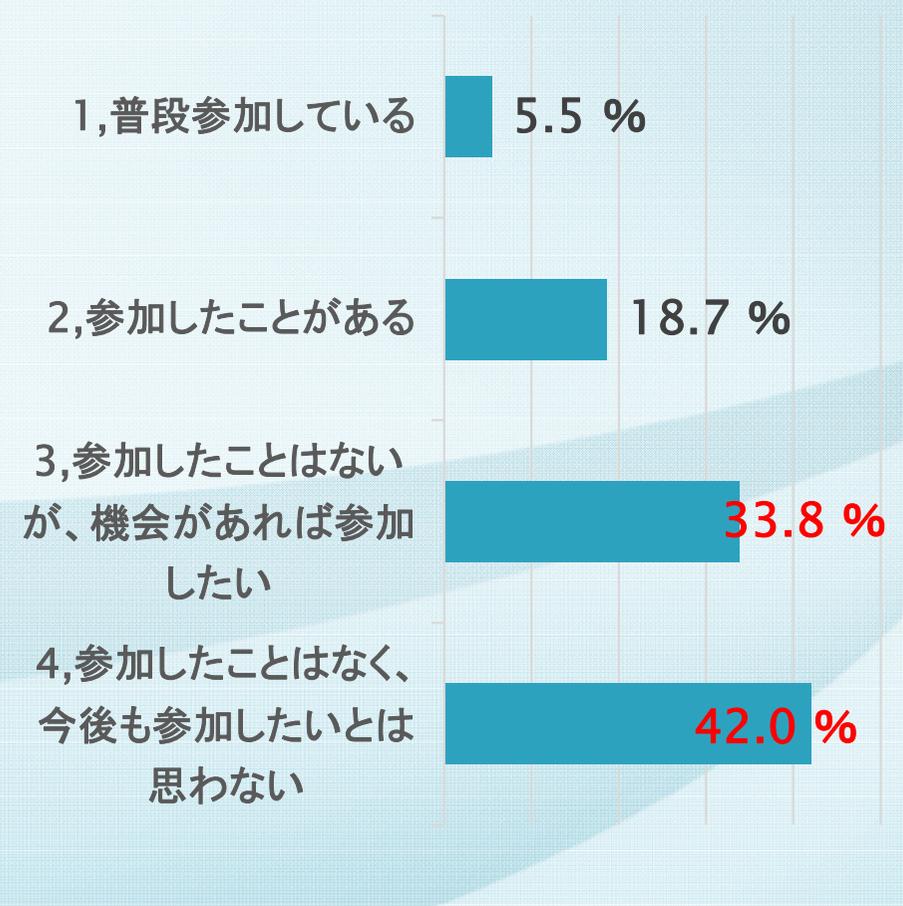
2013年

2019年

あなたは、防犯活動に参加したことがありますか？
また、今後参加したいと思いますか？(n=1,070)



あなたは、防犯活動に参加したことがありますか？
また、今後参加したいと思いますか？(n=1,104)



まとめ（評価による振り返り）

	成果	課題
刑法犯認知件数	★取組前に比べて、刑法犯認知件数が大幅に減少している。	★中心市街地の刑法犯認知件数は、減少傾向にあるものの人口1000人あたりで比較すると、全国・埼玉県より、高い割合を占めている。
防犯活動	★防犯対策における市民の満足度が上昇している。	★満足度は上昇しているが、自主防犯活動に参加する人が少ない。特に、若い世代の参加が少なくなっている。
詐欺被害	★詐欺に対する警戒意識が向上している。	★詐欺の手法の変化が速いため、対策に遅れが生じてしまっている。

課題（振り返り）への対応

刑法犯認知件数	★街頭キャンペーン等を通して意識啓発を図っていく。 ★犯罪が多い地域に、防犯カメラの設置を促す。
防犯活動	★防犯活動に参加してもらえるよう、活動の仕方などの講習会を開催する。特に、若い世代の参加に重点をおく。 ★パトロール実施団体間の連携を深め、パトロール活動が盛んでない地域へ、積極的な活動の展開をしていく。
詐欺被害	★日々手口が変わる特殊詐欺の手口について、市報、回覧、防災無線、安心・安全メール等を使い、注意喚起をしていく。 ★関係機関（警察、金融機関、コンビニ、タクシー協会等）との連携を強化する。

新たな取り組み

①防犯カメラ(一般宅への呼びかけ)

内容

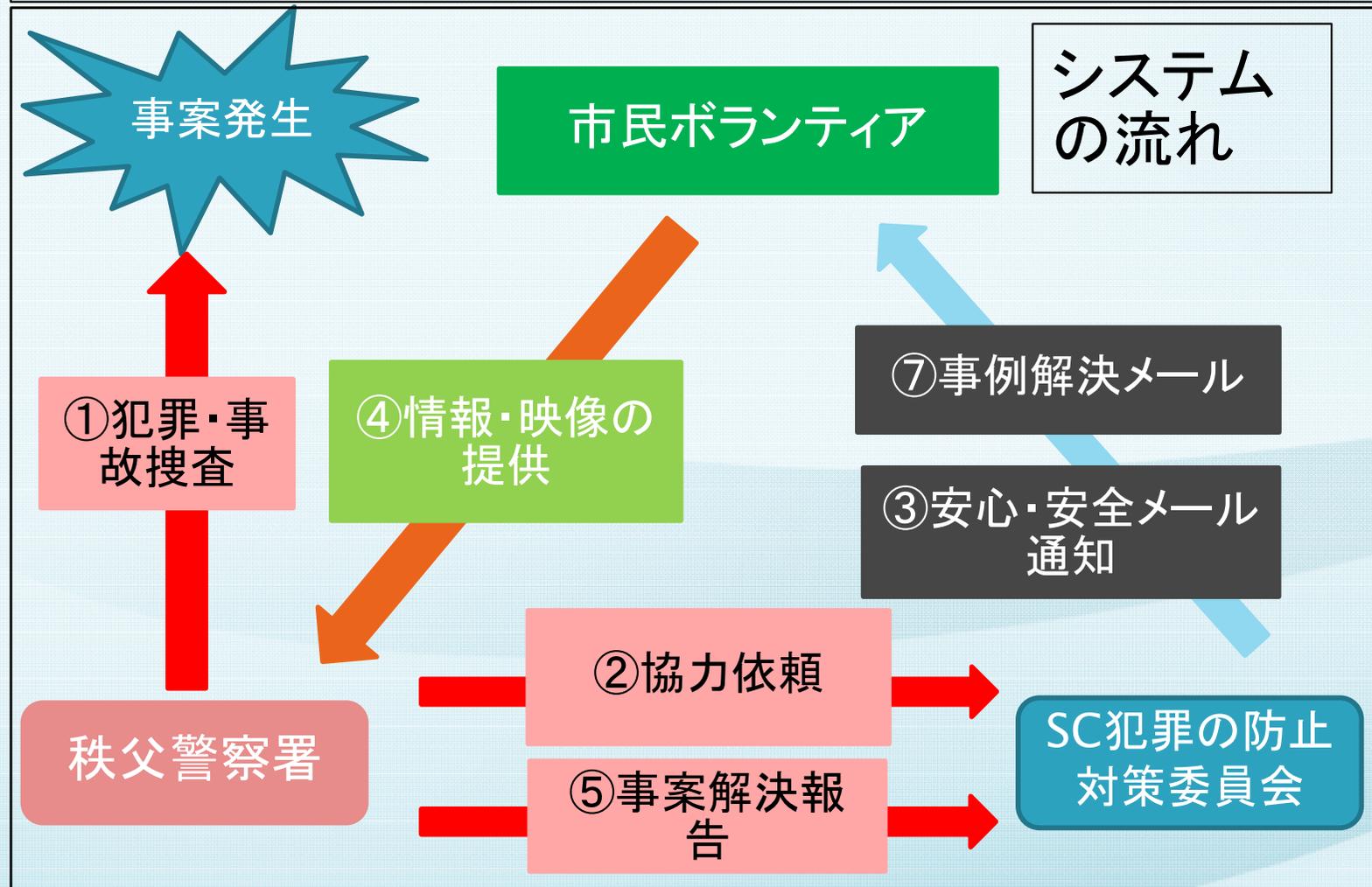
安価な防犯カメラが販売されていることから、一般宅へその存在を周知し、街ぐるみの見守り体制を呼びかける

安価なカメラ(記録用): 1台約8,000円
(設置費別)~

新たな取り組み

■犯罪や事故を目撃した際の通報システムの開始

犯罪や事故の早期解決に向け、協力いただける市民を募集する。市民ボランティアとの協力関係によるまちの見守り体制の構築を目指す。





国際認証都市
セーフコミュニティちちぶ



ご静聴ありがとうございました！